



推進本部だより

カトリック広島司教区平和の使徒推進本部

2014年度広島教区年間テーマ

平和の使徒と争おう

チャレンジ 新しい福音宣教 わたしをお使いください  
- 家庭へのチャレンジ -

## イエス・キリストの復活

### ～ 喜びと希望の源泉 ～

「福音の喜びは、イエスに出会う人々の心と生活全体を満たします」

教皇フランシスコの使徒的勧告「福音の喜び」のタイトルでもある冒頭のことばです。

「福音を宣教する者はつねに、吊いのときのような顔をしてはなりません」※1と教皇は呼びかけています。

「喜び」こそキリスト者の本質であり、「喜び」の根源は、十字架に磔られて死んだイエス・キリストの復活にあります。

今年の復活祭を祝ったわたしたちの「生活全体」を、復活したイエスが「喜び」で満たしてくださいように！

「イエスの復活は、過去の出来事ではありません。それは、世界を貫きたいのちの力を帯びています。すべてが死んだかのように思われるところにはどこにでも、復活は再び芽生えるのです。この力を止めることはできません。しばしば、神はいないかのように思われることが確かにあります。不正も悪意も無関心も、残酷な行為も減ることはなく、わたしたちはそれを目にしています。しかし、闇のただ中であっても、新しい何か必ず芽生え始め、ついには実りをもたらすことも確かなことです」

※2

「週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは

墓に行った。そして墓から石が取りのけてあるのを見た」(ヨハネによる福音書20章1節)

わたしたちの人生のすべてが終わったように思われるような時、あらゆる希望が消え失せて墓石で封印されたと感じるような時、実は、いのちの新しい復活の芽生えが始まり、豊かな実りの約束のしるしが誕生していることを信じることができますように！

※1…教皇フランシスコ使徒的勧告「福音の喜び」 10

※2…教皇フランシスコ使徒的勧告「福音の喜び」 276

## ローマ教皇のつぶやき

主の復活の喜びあふれるこの時期、ローマ教皇のつぶやきをかみしめてみましょう。(邦訳:カトリック中央協議会)

(3月3日) 愛さなければ、心は硬直してしまいます。主よ、私たちに愛することを教える心をお与ください

(3月6日) 金持ちになることあまりにも執着してしまうと、もはや自由ではありません。奴隷状態です

(3月7日) 岩の上に、私たちの信仰生活を築きましょう。その岩とはキリストです

(3月9日) 謙遜さにより、人は救われます。尊大さにより、人は自らの道を踏み外してしまいます

(3月10日) もっとも困難な時、思い起こしてください。神は私たちの御父であり、その子らを見捨てないということ

(3月12日) 快適さには気をつけてください。快適に過ごしていると、他者のことを忘れがちです

(3月19日) 神が、私たちの心を善といつくしみで満たしてくださいよう、自らを神にゆだねましょう

(3月24日) これほどまでの社会からの無関心の中、各教会やキリスト教共同体が、いつくしみを与える場となりますように

(3月26日) 信徒は、社会の中にあつて、キリスト者としてパン種になつて生きるよう呼ばれています

(3月28日) キリストの弟子として、最も力ない人々の幸せを心配せずにはられません

(4月2日) イエスは使徒たちの足を洗いました。私たちも同様に、周りの人々にいつでも奉仕できるように

## 主な教会暦(主日を除く)

04月06日 教区平和の日  
10:00 平和祈願ミサ  
(世界平和記念聖堂地下聖堂)



(ホームページ)